

いーたん

飯南



いいなんちょう

飯南町広報

平成19年3月20日 No.27

3月号

特集

飯南町民まつり

年間行事予定・まちの話題・お知らせなど

縁側喫茶「南天」の作業風景(頓原:町区)

パネルディスカッション

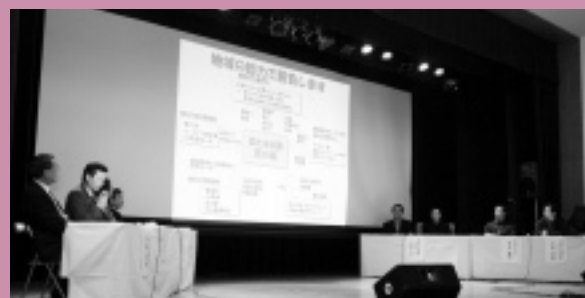
まちづくりの基本理念「生命地域」を目指した産業創出のため、今年度から町民の皆さんを対象に「住民提案型事業」を募集してきました。

今回は、採用された6団体が参加し、それぞれの事業内容や経過報告等を発表いただきました。

アクト3 赤名
銀山街道を生かした町づくり
いきいき長谷
いきいき山野草園の開設
森と水企画 草の城
竹の子の集荷体制の確立、
乾燥竹の子の製造・販売
野苺自治区振興会
地域マップの作成
こだわりの創作の会 ～杜の風の贈り物～
日本酒醸造
賀田城を守る会 賀田城山セラピーロード



発表する森山敏さん
(森と水企画 草の城)



講演「天気予報を利用した健康づくり」

講師 松村 誠さん

広島市松村循環器・外科医院院長 医学博士



松村さんは、「心筋梗塞・脳卒中予報」をテレビのニュースで広めるなど、全国で活躍されています。講演会では「健康長寿の秘訣はバランスの良い食事と運動です」と話され、健康維持のためのユニークな方法も紹介いただきました。

「餅がのどに詰まった時は、掃除機を使えばいい」などとユーモアたっぷりに話をされ、終始笑いが絶えない楽しい講演会でした。

健康づくり活動発表



頓原地区婦人会
鳥屋ヶ原美子さん

「町民と行政の協働による健康づくり」を実践している団体の活動発表として、志々公民館と頓原地区婦人会の発表がありました。

志々公民館では、講演会の前に地域の皆さんがテーマに関する寸劇を披露されるなど、健康に関心をもっといただくために工夫していることを紹介されました。

頓原地区婦人会では、活動を通して「女性が元気だとまわりも元気になる感じた」と、健康活動の効果を話されました。

よいとこみつけて 健康でいーなん!



地域づくりと健康をテーマに開催した、第2回飯南町民まつり。今年は保育所児童から高齢者まで、町内の幅広い層の方に参加いただきました。住民代表の方と町職員で立ち上げた、飯南町民まつり実行委員会に、多くの団体が賛同され、町が一体となった活力のあるまつりとなりました。

第2回

飯南町民まつり



写真説明

「みんなすごいね」子どもたちもビックリ
朝食コンテストの準備をする食改のメンバー
多くの人で賑わう展示コーナー
町内7団体の「自慢の料理」を味わう食の広場
「うまくてきたよ」赤名・来島保育所の銭太鼓
桜ヶ台・さつき保育所の太鼓演奏は元気いっぱい
琴城流大正琴衣掛会の見事な演奏
オープニングで町民歌を演奏する飯南高吹奏楽部
町内の音楽好きが集まるバイプレイヤーズの演奏
19団体の作品が飾られた飯南町文化協会の展示
飯南児童合唱団のかわいい歌声が会場を和ませる
「あれもいい出来ですよ」と会話が弾みます



飯南町お知らせガイド

平成19年度 主な年度行事の紹介

●日程は変更することがあります。あらかじめ広報行事予定・文字放送・町ホームページ等でお確かめください。

：日程未定の行事

4月

- 1日 やまめの溪オープン釣り大会(志津見)
- 2日 各保育所入所式
- 8日 知事・県議会議員選挙投票日
- 10日 小中高校入学式
- 15日 春のウォーキング大会(頼原公民館)
- 22日 志々公民館まつり(志々公民館)

5月

- 3日 ちびっ子祭～4日(うぐいす茶屋)
- 12日 飯南町ぼたんまつり～13日(赤名観光ぼたん園)
- 16日 飯南町小学校陸上大会(会場未定)
- 20日 大万木山ブナ林自然観察会
- 26日 女亀山自然観察会(赤名公民館)
- 27日 頼原地区ソフトボール大会(頼原町民野球場)
- 頼原地区ソフトバレーボール大会(頼原中)
- 町民ウォーキング大会(県民の森)

6月

- 10日 ポピー祭(東三瓶フラワーバレー)
- 16日 飯南高創立60周年記念講演会
- 23日 いちりナイトウォークラリー(志々公民館)
- 飯南町音楽祭(会場未定)

7月

- 7日 赤名半夏市～8日
- 10日 半夏子牛共進会(畜産センター)
- 28日 とんぼらふるさと夏祭り(頼原連坦地)
- 29日 飯南ヒルクライム2007(大万木山周辺)
- やまめのつかみ取り大会(塩谷川)
- 八神ふるさと夏祭り(八神連坦地)
- 飯南町消防団夏季訓練(赤名山村広場)

8月

- 2日 銀山街道応援団清掃活動
- 3日 赤名・来島・谷公民館合同グラウンドゴルフ(赤名山村広場)
- 11日 赤名湿地帯自然観察会(赤名公民館)
- 15日 赤名盆踊り大会(赤名町民グラウンド)
- 谷地区盆踊り大会(旧谷小学校)
- 飯南町成人式(赤名農村環境改善センター)
- 26日 町民体育大会(赤名・来島・谷・頼原)
- 30日 飯南高鵬雲祭～9月1日

9月

- 1日 飯南高鵬雲祭
- 8日 頼原中・赤来中体育祭
- 15日 頼原小なかよし運動会
- 16日 頼原公民館ウォーキング大会
- 来島小運動会
- 18日 飯南町畜産共進会(畜産センター)
- 22日 赤名・来島保育所運動会
- 23日 赤名小運動会
- 29日 桜ヶ台保育所運動会
- 志々地区町民体育大会
- 敬老会(会場未定)

10月

- 8日 町民ハイキング(会場未定)
- 14日 コスモス祭(東三瓶フラワーバレー)
- 21日 頼原公民館まつり(保健福祉センター)
- 28日 来島文化祭(基幹集落センター)

11月

- 3日 飯南高創立60周年記念式典
- 4日 谷ふれあいまつり(谷体育館)
- 彩りの森「紅葉祭」(うぐいす茶屋)
- 10日 赤来中カルチャーフェスタ
- 頼原中文化祭
- 11日 町民まつり
- 17日 頼原小学習発表会
- 志々小まつり
- 18日 赤名小学習発表会

12月

- 2日 来島小学習発表会

1月(平成20年)

- 1日 頼原公民館元旦マラソン
- 志々公民館元旦マラソン
- 13日 消防出初式(みせん)

3月

- 2日 飯南高卒業式
- 13日 頼原中卒業式
- 14日 赤来中卒業式
- 19日 各小学校卒業式
- 各保育所入所式
- 健康まつり

飯南町が美しい日本の風土の一つに選定

美しい日本の歴史的風土 準100選

飯南町の歴史的・文化的景観である「琴引山麓の里山地域」と「赤名宿と銀山街道」が「美しい日本の歴史的風土」準100選に選定されました。

今回の選定は、古都保存法施行40周年記念事業として実施されたもので、日本全国に残る歴史的・文化的資産が自然環境と一体となった「美しい歴史的風土」を選定し、国民共有の文化遺産として保存・継承しようとするものです。

全国から698件の推薦があり、このほど、100選、準100選が選定されました。

町が推薦した2つの地域は、惜しくも100選入りを逃しましたが、揃って準100選に選定されました。

選定された地域は、3月2日に「美しい日本の歴史的風土100選」選定記念フォーラムで紹介されたほか、国土交通省等のホームページ、その他関連刊行物において紹介される予定です。

飯南町の歴史的・文化的景観である「琴引山麓の里山地域」と「赤名宿と銀山街道」が「美しい日本の歴史的風土」準100選に選定されました。

夢いっぱい願いを込めて 神戸川で流しびな

た短冊も一緒に、神戸川に流して願いを込めました。その後は、児童が銭太鼓を披露し、一緒に歌を歌いながら楽しく時を過ごしました。



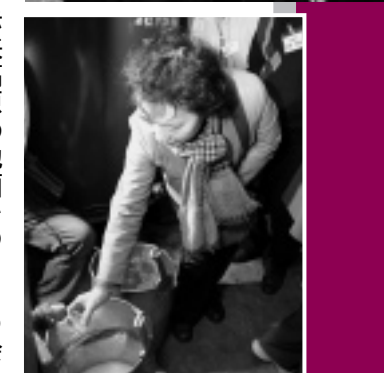
加田の湯の指定管理者「来島郷の会」は、2年前から異世代交流イベントの「流しびな」を開かれており、今年も来島保育所児童と下来島老人クラブの会員が参加して行われました。

児童たちは、高齢者と一緒に作ったひな人形を、流しに任せ、小学校でやりたいことや、将来の夢をつづった短冊も一緒に、神戸川に流して願いを込めました。

酒づくりから交流が芽生える 地酒をつくろう会 蔵出しイベント

「赤来高原の地酒をつくろう会」が毎年開かれていた蔵出しイベントは、今年で5回目を迎え、今回は約80人が集まりました。イベント開始前には、利き酒大会や飯南高吹奏楽部の演奏もあり、参加者を楽しませていました。

会員自らが田植や稲刈りを行っていることもあり、出来上がった地酒の味は格別な様子で、絞ったての地酒を手に、新たな交流が生まれていました。



椎茸を地域のブランドに

飯石森林組合 椎茸栽培ハウス 竣工式

椎茸生産の効率化、低コスト化など、生産体制の整備を図るため、飯石森林組合が佐見地区に特用林産物生産施設「新型菌床椎茸栽培ハウス」6棟を完成させ、竣工式が行われました。

同組合では、平成4年から菌床椎茸生産事業を開始し、以来年間約250トンの生椎茸を生産・出荷されています。

今後は更なる経営安定化、良品で安全な椎茸の生産により、地域のブランドとしても期待されます。



町のうづき

防災講演会開催

2月19日、ふれあいホール「みせん」を会場に、防災講演会を開催しました。

この講演会には、防災システム研究所の山村武彦さんを講師にお招きし、「地域・生き残るための覚悟」「災害現場に学ぶコミュニケーション」と題してお話しいただきました。

山村さんは、阪神・淡路大震災をはじめ、多くの地震災害でボランティア活動や調査・研究に携わっておられます。

それらの経験から、今回は実際の映像等を交えながら、被災時の助け合い精神の大切さや、災害時に何をすべきかを、力強く訴えられていました。

また、「災害時は、行政も被災者になる。当てにはできない」「など、万が一に備えて、日頃から近所付き合いを大切に、地域で防災体制を確立しておくことが大切だと話されました。



山村武彦さん



地域のよいとこさがしに

毎日・地方自治大賞奨励賞

地域独自の秀逸な事業・運動、企画を進めている市区町村を年1回顕彰する「2006年度毎日・地方自治大賞」で、町全体で取り組んだ「地域のよいとこさがし」が奨励賞に選ばれました。

職員が地区に入り、地域の皆さんとの対話により、地域にどんな団体がどのように活動しているか、どんな成果を挙げているかを調べ、事例集としてまとめたこと。そして、それを新しい町の「まちづく

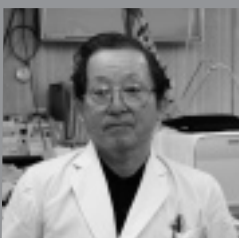


町では、調査結果の成果を踏まえて、地域資源を使ったコミュニティビジネスの立ち上げに助成するなど、支援を始めています。

今後、みなさんと一緒に貴重な地域資源の発掘を続けていくとともに、町の活性化につなげていきたいと考えています。

おめでとうございます

和田勝祥さんに 学校医永年勤続表彰



島根県では、小・中学校で30年以上、子どもたちの健康増進などに寄与した学校医を対象に毎年、永年勤続表彰を行っています。赤名小と赤来中で学校医を勤める和田勝祥さん(赤名)は、昭和51年から30年間にわたって、子どもたちの健康を守る活動を続けてこられました。昭和59年には、赤名小が「全日本健康優良学校表彰」を受賞するなど、学校医としての積極的な指導が評価されており、「今後も子どもたちのためにがんばりたい」と話されていました。

教育委員会委員に 熊谷高暢さん



飯南町教育委員会委員に、熊谷高暢さん(頼原:町区)を任命しました。任期は平成19年2月11日から4年間です。



飯南町男女共同参画計画策定委員会が答申書を提出

飯南町の男女共同参画計画策定について諮問を受けていた飯南町男女共同参画計画策定委員会が、2月26日に山崎町長へ答申書を提出されました。

同委員会では、去年の7月から町の男女共同参画計画について、14人の委員で5回の委員会を開催し、慎重に議論を重ねられてきました。

会長の永田禎一さん(八神:川東)は、「この計画があらゆる分野において男女共同参画にむ

けた取り組みの指針となり、積極的な推進が図られることを期待します」と答申されました。

提出された計画には、男性と女性がともにいきいき輝くまちづくりをめざして、男女共同参画の意識づくりや推進に向けた5つの基本目標が掲げられています。

町は今後、この計画をもとに具体的な指標を設置し、実施計画の策定を行っていきま

ふるさとを 築いた人々

その7 今月号は先月に引き続き江戸時代の角井村の庄屋、弥兵衛についてご紹介し

庄屋 弥兵衛

やへえ

荷継ぎの負担軽減を求めて、大森代官所へ訴状を提出した弥兵衛でしたが、訴訟は思うように進みませんでした。村々の庄屋は変わるがわる江戸へ赴き、対応にあたりました。弥兵衛もそのうちの一人として追願書の提出など、訴訟の進展に尽力しましたが、慣れない江戸での滞在と、進まぬ訴訟への心労からか高熱を発し、1月29日、無念の一言を残し、不帰の客となりました。

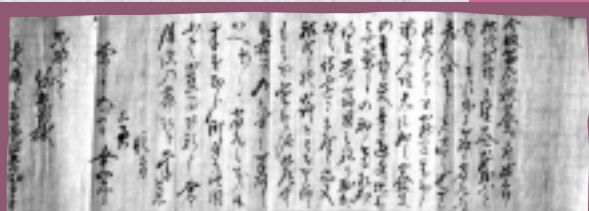
同じく江戸に滞在していた中來島村の富左衛門は、弥兵衛の死を幕府に届け出るとともに、広瀬藩と角井村へ急飛脚を立てました。角井村で急報を聞いた息子の幸四郎は、一本歯の下駄で江戸へ向かったと伝えられています。

弥兵衛の葬儀は浅草の等光寺で営まれました。享年55歳でした。

この後も、訴訟は粘り強く続けられ、弥兵衛の死から4年を経た1820年(文政3)幕府から赤名宿に対し、江戸への出頭命令がありました。8年にも及んだ訴えの結果、認められたものは、運搬距離の短縮ではなく、「増助郷」というものでした。赤名宿にかかる荷継ぎの経費を負担する村々の数を増やし、個々の負担軽減を図るという方法です。吉田村など周辺の村々が助郷に加わった結果、それまでの荷継ぎ費用全体のおよそ10%分が、増助郷としてプラスされる事になりました。

訴訟は、赤名宿が願ったものとは程遠い結果に終わりましたが、江戸時代の公権力に対し、村々が団結して訴えを行ったこと、また、赤名宿と周辺の村々の苦難の状況が理解され、部分的にはあるとしても、言い分が認められた事は、地域史の中でとても大きな出来事だったといえるのではないのでしょうか。

- 1812年(文化9) 7月 赤名宿、大森代官所へ追願書提出。
- 1814年(文化11) 1月 赤名宿は「布野宿」を相手どり、改めて訴え出るよう訴状を差し戻される
- 3月 上來島の半兵衛ら、江戸へ出発
- 5月 寺社奉行へ訴願状提出～受理される
- 8月 半兵衛、祐四郎(波多村)江戸にて布野宿代表と対審
- 1815年(文化12) 3月 弥兵衛、半兵衛に代わり江戸へ
- 8月 弥兵衛、祐四郎、寺社奉行へ追願書を提出
- 10月 祐四郎、帰郷。中來島村富左衛門、江戸へ
- 1816年(文化13) 1月 弥兵衛、病により江戸で死去
- 8月 幕府による現地調査決定～帰郷命令
- 1817年(文化14) 5月 大森代官赤名宿を現地調査
- 1819年(文政2) 11月 勘定方役人、奥飯石と周辺の村々の現地調査実施
- 1820年(文政3) 3月 赤名宿に勘定奉行から出頭命令
- 4月 奉行所において増助郷の決定が申し渡される



幸四郎が江戸詰め父弥兵衛に送った手紙(角井:吾郷氏所蔵)「家の皆は元気でやっているから心配いりません。お体に気をつけて江戸で存分な働きをお祈りしています」とつづられています。

俳句短歌



琴峯華俳句会(節分・冴返る・その他)会員作品抄

- * 肩落し去りゆく友に冴返る
- * 子離れをしてより女春着派手
- * 節分の豆盛り上げて山祇へ
- * 暖冬で早くも露の臺覗く
- * 初物の露の臺味嘈香りけり
- * 冴返る一語の餅投げ返す
- * 風揚げの児の声弾む冬ぬくし
- * 歩行器の母の歩みや冴返る
- * 冴返る父の机上の方丈記
- * 小さき井に独りに足りる福の豆
- * 大根を洗ふ流れの水ぬるむ
- * 立春の木陰明るき散歩道
- * 邪鬼払ふ節分神事の整響く

- 石田シヅカ
- 奥野 王青
- 垣内 良野
- 片山 素文
- 林 勝子
- 原 コウ
- 張戸ユキ女
- 政本 進美
- 源 雨光
- 森 征子
- 門所 詠子
- 山崎智恵美
- 垣内 峯雅

赤名短歌会

二月例会詠草

- * 聞き流すゆとりと身体の軋む音ありてそろそろ七十路近き
- * 人を愛し我を愛して八十年いつの間にもやら年重なりぬ
- * 天を目標すところの炭子どもの書初めたかく文字のいきほふ
- * ただ一度生まれ来れる私ゆえ優しく強く生きて行きたし
- * 可憐なるアネモネ咲きに無常なる雪に染みて赤き色見す
- * 米国に舵任せたのか日本丸二度と踏むまいいつか来た道
- * 暖冬を籠りて居れば松江城に梅五輪ほどの春が映れる
- * ばたん雪冬枯れの木は霧氷樹に花のごと見ゆ節分の朝
- * 穏やかな冬すくし来しその裏で稲作時期の水不足気遣う
- * 四百年寺の嵐をさまざまに受けて直ぐ立つ夕日の銀杏
- * 子の笑顔親の笑顔をよくこびに生きて来し我今日還暦に
- * 昨年の豪雪は夢か淡き雪梅の小枝に花咲かせたり

- 本間 麗子
- 佐々木りく子
- 岩佐 恒子
- 日富美代子
- 三島 久恵
- 澤田 勝登
- 石田フクエ
- 貝森フミエ
- 難波 幾子
- 源 光子
- 門所 詠子
- 中村三四二

メタボリックシンドローム

No.7

予防のための運動 メタボリックシンドロームは、一に運動、二に食事、しっかり禁煙、最後に「クスリ」の標語のもと、次のような対策が進められています。

内臓脂肪減少のための運動

内臓脂肪を減少させ、肥満を防止するためには、運動によるエネルギー消費量の増加と食事改善によるエネルギー摂取量の減少が必要です。運動による消費エネルギーを増加させるためには、ウォーキングやジョギングのような持久系の運動、筋力トレーニング（筋トレ）、家事で身体を動かすストレッチングなど、様々な運動があげられます。

なぜ筋トレが必要なのか？

私たちは寝ている間も心臓は動いているので、エネルギーを消費しています。基礎代謝は、このような人間が生きていくうえで最低限使う消費エネルギーと捉えられますが、私たちが日常生活で一日に使うエネルギーは、全体の割合から見ると、わずか3割しかありません。残りの7割が基礎代謝によるエネルギー消費となります。

筋トレの注意

- 筋トレを行うときは準備体操を行いましょう。
- 息を止めずに行いましょう。
- ゆっくり5秒数えながら行いましょう。
- 体調が悪いとき、病院で止められているときにはやめましょう。



お問い合わせ先 飯南病院 TEL72-0221 来島診療所 TEL76-2309 保健福祉課 TEL72-1770

こんにちは中山間地域研究センターです

「竹」が中山間地域を救う!!

資源環境グループでは、近年やっかいものといわれている「竹」を資源として利用することを、グループの共通課題と位置づけて研究を進めています。

パウダー化



竹林で伐採した竹をチップにかけてチップ化し、このチップを植纖機でパウダー化します。

この作業により竹は、加熱圧縮、膨潤化され、ふかふかな繊維状のパウダーとなります。

農業分野での利用

このパウダーを利用して、水稲・大豆および野菜などは、雑草抑制を目的に、畑では畝間にマルチとして敷設すると長期間草を抑えます。また水田への散布でも、雑草の発生抑制効果があります。

畜産分野では、敷料および飼料としての活用を研究しています。

敷料としてはオガコなどより保水性、消臭性に優れています。飼料としてはイナワラと同程度の栄養価があり、粗飼料としての利用価値が認められます。

平成19年度試験計画

試験では飼料としての保存性向上やその他育苗マットなど広範囲な利用方法について研究を進めることとしています。

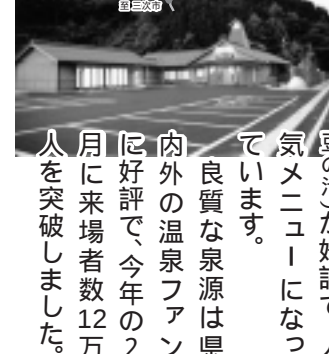
畜産飼料としても注目

私たちの地域を紹介します

第11回

下来島

100世帯・303人



「癒し」と交流の拠点 加田の湯
平成16年6月1日にオープンした「加田の湯」は、地元有志による「来島郷の会」が運営しており、地域資源をいかした温泉施設として地域活性化の拠点となっています。

施設内の食堂では、地域食材を使った田舎料理を提供しています。特に「こんべえ定食」は、おふくろの味わいと具汁大（豆の汁）が好評で、人気メニューになっています。

良質な源泉は県内外の温泉ファンに好評で、今年の2月に来場者数12万人を突破しました。

地域の資源

「癒し」と交流の拠点 加田の湯

今後、交流事業や季節ごとのイベントを企画していく予定です。

「加田城跡」の整備・保護に向けて

加田城跡の存在は広く知られていますが、その歴史的重要性、遺構の貴重さはあまり認識されていませんでした。

写真はイメージです 提供: CYCLING TIME.com

イベント情報



飯南ヒルクライム開催決定

峠や山頂をゴールとし、自転車でのんびり坂道を上る競技を「ヒルクライム」といいます。琴引山、大万木山周辺を舞台に開催し、飯南町の大自然を多くの方に満喫してもらうために企画されました。

県内外から多くの方の参加が予想され、様々な地方の方との交流など、楽しいイベントとなります。

県立三瓶自然館サヒメルからのお知らせ

石見銀山

鉾山遺跡と自然

「銀はどこから来たの?」として石見銀山で銀が採れたの?「世界遺産候補の石見銀山について、三瓶自然館ならではの切り口で紹介します。

石見銀山座談会

石見銀山って何だろう? 歴史など各分野の専門家を招き、参加者とともに石見銀山を語る座談会です。

春の企画展
■期間 3月21日(水)～6月4日(月)
■入館料 大人600円 小中高200円

■日時 4月15日(日)13時～16時
■参加費 無料
■お問い合わせ先 県立三瓶自然館サヒメル 0854-86-0500

まちのスケジュール

2007 平成19年 4月

日	月	火	水	木	金	土
1 ※ やまめの溪 オープン釣り大会 (志津見)	2 □ 保育所入所式	3	4	5	6 □ さつき保育所交通安 全マスコット配り	7
8 □ 来島親子交通安全 教室 ※ 知事・県議会議員 選挙投票日	9 □ 小中高校始業式 ※ おしゃべり広場 (保健福祉センター)	10 □ 小中高校入学式	11 □ 来島保育所地域 開放日	12	13 □ 陸上教室 (会場未定)	14 □ 近隣中学校バレー ボール大会 (頓原小・頓原中体育館)
15 ※ 春のウォーキング 大会 (頓原公民館) ※ 散在性ごみ収集 活動	16 ※ スマイルりんご (来島保健センター)	17	18 □ 赤来中修学旅行 ～21日(沖縄県)	19 □ 赤来中遠足 (場所未定) ※ 乳幼児健診	20 □ 来島小授業公開日 ・PTA総会 □ 赤名小授業公開日 ・PTA総会 □ 頓原小授業公開日 ・PTA総会 □ 志々小PTA総会 ・歓迎会	21
22 ※ 志々公民館まつり (さつき会館)	23 □ 志々小授業公開日 ※ おしゃべり広場 (さつき会館)	24 ※ どんぐりデイズ ～28日(頓原公民館)	25 □ 頓原中遠足 (場所未定)	26 □ 赤名小遠足 (場所未定) □ 小学校修学旅行 ～27日	27 □ 志々小遠足 (場所未定) □ 来島小全校遠足 (三瓶)	28
29 昭和の日 ※ そばうち体験 (クラインガルテン)	30 振替休日	5/ 1	5/ 2	5/ 3 憲法記念日 ※ ちびっ子祭 ～4日 (うぐいす茶屋)	5/ 4 みどりの日	5/ 5 こどもの日

□ 教育 ※ 健康・保健 ※ 文化・体育 ※ その他



決められた日時を
お守りください

し尿汲取り日		頓原地域 ▲ 72-1401 赤来地域 ▲ 76-2441	
汲取り地区	汲 取 り 日		
頓 原	7日	9日	27日 29日
志 々	12日	14日	
赤 名	2日	4日	22日 24日
来 島	17日	19日	
谷	4日	24日	

※汲取り日が日曜日の場合は前後の日となります。

資 源 物	
収集地域	収集日
頓原	18日 (水)
赤来	25日 (水)

	金属類・粗大物	ガラス類
収 集 地 区	収 集 日	収 集 日
頓 原 連 坦 地	23日(月)	9日(月)
八 神 連 坦 地	25日(水)	11日(水)
志々・頓原の連坦地以外	24日(火)	10日(火)
赤 名 連 坦 地	16日(月)	2日(月)
来 島 連 坦 地	18日(水)	4日(水)
赤名・来島の連坦地以外	17日(火)	3日(火)